

## M シリーズ Mac 対応版のファイルを使用する際の注意点

M シリーズ Mac 対応版のファイルを使用する場合には、以下の注意点がございますので、あらかじめお読みください。

- p.17 「Mac に検証環境構築したいときは」の手順 1において、Homebrew のインストールコマンドを実行したあとに、以下の 2 つのコマンドを実行する必要があります。

```
echo 'eval $(/opt/homebrew/bin/brew shellenv)' >> /Users/<ユーザ名>/.zprofile
eval $(/opt/homebrew/bin/brew shellenv)
```

※ 実行するコマンドはインストールログの最後に表示されます。コピペして実行してください。

- 2024 年 1 月 19 日現在、M3 Mac の環境で、手順 2 の方法を使用して Multipass をインストールすると、仮想マシンを起動できないという現象を確認できています。この現象は、v1.11.1 の Multipass を使用することによって回避することができます。brew コマンドを使用せず、以下の URL よりダウンロードしてインストールしてください。

### URL

<https://github.comcanonical/multipass/releases/download/v1.11.1/multipass-1.11.1+mac-Darwin.pkg>

- 2024 年 1 月 19 日現在、会社のポリシーなどによって、Mac のファイアウォールの設定を変更できないと、Mac を再起動したあと、仮想マシンを起動できない場合があります。

- tcpdump コマンドの-w オプションを使用して、パケットを保存する際、拡張子を「pcapng」とすると、「Couldn't change ownership of savefile」というエラーになります。拡張子を「**pcap**」としてください。

例：

<書籍の記載>

```
tcpdump -i net0 -w /tmp/tinet/ethernet.pcapng ether host 02:42:ac:01:10:01
```

<M シリーズでは>

```
tcpdump -i net0 -w /tmp/tinet/ethernet.pcap ether host 02:42:ac:01:10:01
```

※ 拡張子を pcap にしても同様のエラーが出た場合は、「**multipass stop UBUNTU**」 → 「**multipass start UBUNTU**」で、仮想マシンを一度再起動してみてください。